第10号　平成24年３月１日発行

2012 MAR
NO. 10

まつえ

MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

きまち湯治村（宍道町）

議会をもっと身近に あなたと市政を結ぶホットライン

議会の動き

松江市議会議員研修会（中央大学大学院教授佐々木信夫講師）

経済委員会現地視察
（松江市開発交流プラザ）

議員定数等調査特別委員会

発行・松江市議会　編集・議会広報等特別委員会

12月定例会

平成23年12月2日～12月22日

補正予算案・東出雲町決算など

47議案を原案どおり可決、認定、同意

12月定例会では、松江市奨学金貸付条例の一部改正などの条例改正や、東西の美保関保育所やゆうあい熊野館等の指定管理者の公募による指定などの議案、生活保護世帯の増加等による4億9,600万円余りの増、職員人件費の5億5,500万円余りの減、子ども手当の2億2,400万円余りの減額などの一般会計、特別会計、企業会計など補正予算総額9億3,284万円余りの補正など市長提出案件44議案と、委員会・議員提出案件3議案を可決、認定、同意しました。

なお、決算特別委員会を設置し、平成23年度八束郡東出雲町決算7件について審査を行い、全て認定しました。

また、議員定数等調査特別委員会を設置し、議員定数及び政務調査費の調査研究を行うことになりました。

議員提出議案1件を可決

議員提出議案「地方の社会資本整備等の促進を求める意見書について」は、全員一致で可決しました。平成24年度の国の概算要求基準は、7千億円規模の特別枠が設けられたものの、政策的経費は一律1割の削減が求められるなど厳しい現状となっており、意見書では、地方の状況を踏まえ、以下の事項を要望したものです。

（要約）

1. 高速道路・高規格道路など避難道路は不可欠であり、大橋川改修など一日も早い完成を求める。
2. 社会資本整備総合交付金、農山漁村整備総合交付金などの交付金の総額確保と、社会資本整備が遅れている地域へ重点的に配分を行うこと。
3. 大規模で広域的な災害に対応できるよう、国は危機管理の機能と体制の充実を図ること。

請願・陳情の審議結果

請願・陳情の審議結果は下表のとおりです。

件　名	提　出　者	審議結果
請願第6号　市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	松江市生馬公民館　運営協議会 会長　松尾　知樹	閉会中の 継続審査 （全員）
請願第7号　市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	石川　修一	閉会中の 継続審査 （全員）
陳情第34号　第五大橋道路開通に伴う松東地域のまちづくりと線引き制度の見直しについて	松江市川津地区自治連合会 会長　久保田　明雄　外6団体	閉会中の 継続審査 （全員）
陳情第35号　第五大橋道路開通に伴う東川津地区のまちづくり事業推進について	松江市東川津土地区画整理組合設立準備委員会 会長　小山　昭	閉会中の 継続審査 （全員）
陳情第36号　「まつえ若武者隊」活動と雇用の継続について	まつえ若武者隊の存続を願う会 代表　杉井　英作	不採択 （全員）

市政のここが聞きたい　18人の議員が質問

12月定例会　一般質問

12月定例会では、12月7日から12月9日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

※会議録は松江市議会ホームページ（http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html）でご覧いただくことができます。

会派代表質問

山本　勝太郎（やまもと かつたろう）（松政クラブ）

- 佐陀神能（世界無形文化遺産）登録
- **平成24年度予算編成について**
- エコクリーン松江のごみ焼却炉の損傷について
- しんじ幼保園の地盤沈下に伴う建物の損傷について
- 原子力発電所関連の現状について

質問　財政改善、見直しや重点的に行われる事業について伺う

平成24年度予算編成の方針について、基本的な考え方や財政改善に向けての方法、見直しを行う事業や重点的に行われる事業について伺う。

回答　事務事業などの見直しを行い財源確保を図りたい

実質公債費比率は、臨時財政対策債の発行抑制と繰り上げ償還の実施などにより、地方債残高を1千億円以下にし、類似団体平均の12.5%を目指したい。引き続き事務事業、公共施設の見直しを行い、財源確保を図りたい。新体育館の建設など災害に強い都市基盤の整備、子どもから高齢者に至るまでのライフステージごとの施策を示したい。観光は「まち歩き観光」と外国人観光客の誘致に力を入れたい。また山陰自動車道をはじめとした避難道路、大橋川改修など防災対策に伴う社会資本整備について、予算確保を国に要請したい。

会派代表質問

南波　巌（なんば いわお）（松政クラブ）

- 高齢化社会に向けた支援策
- **子育て支援のさらなる充実**
- 公共事業費の確保
- 旧県立プール跡地の活用
- 子ども読書活動の推進
- 放送大学の活用

質問　子育て支援のさらなる充実の考えは

市長は「子育て支援の充実」を掲げ、待機児童の解消に向けた施設整備、小学校3年生までの医療費の無料化や保育料の軽減など、全国でも高い施策を進めてこられ、評価している。今後、人口増や雇用の視点を踏まえ、子育て支援のさらなる充実に向けた考えを伺う。

回答　保育料の負担軽減、医療費無料化の対象年齢引き上げを検討する

保育料について、現在国が定める規準額に対し、平均約37%の軽減を図っている。今後さらなる保育料の負担軽減を検討してまいりたい。

乳幼児等の医療費は、市独自助成により、段階的に医療費無料化の対象年齢を引き上げ、昨年7月には小学1年生～3年生までの無料化を実施し、子育て世代の負担軽減を図っているが、さらなる対象年齢の引き上げを検討してまいりたい。

会派代表質問

津森　良治（つもり りょうじ）（市民クラブ）

- 市長の描く未来の松江市について
- **原発問題について**
- 新市職員削減計画について
- 学校屋外運動場（校庭）の芝生化について
- 性同一性障がい者への健康保険証の性別記載について

質問　島根原発1号機の再稼働の考えは

保守点検不備の課題、2ヵ所のひび割れが見つかった課題がある島根原発1号機について、今回の福島第一原発事故を受けて、停止中の原発に対しては、再稼働の前提として、ストレステストを実施することになったが、再稼働についての考えを伺う。

回答　福島事故の原因究明が前提条件である

まず課題が解決されることが必要であり、ストレステストの、特に1次評価の稼働の是非についての国の評価を得ることが必要だと思っている。また、国の指示を受けて実施されている安全対策の実施状況が、運転開始の前提条件になると考えている。そして何よりも今回の福島の事故原因究明を強く主張している。本当に津波だけだったのか、地震あるいは高経年化の問題があるのかどうなのか、国において明確に、この点を明らかにしてもらいたいと思っている。

会派代表質問

加本　市郎（かもと いちろう）（公明クラブ）

- 平成24年度予算編成方針
- 拡充児童手当
- **島根原子力発電所の防災対策**
- 被災者支援システム導入
- しんじ幼保園の地盤沈下に伴う建物の損傷
- エコクリーン松江溶融炉損傷
- 空き家対策

質問　小中学校での放射能教育の取り組みは

福島県の子どもたちが、避難先で放射能をめぐる差別やいじめがあると聞き、小中学校で、放射能への正しい教育が必要であると思う。放射能教育の実態と今後の取り組みを伺う。

回答　平成24年度から副読本により、小学校でも指導を行う

現在、小学校では行っていないが、平成24年度から文部科学省で放射線等に関する副読本が作成されるので、それに基づいて、小中学校で指導を行う。今年度、小中学校理科部会で、放射線等に関する研修会を実施している。

片寄　直行（かたよせ　なおゆき）（共産党議員団）

・市長の政治姿勢
・原発問題と地域防災計画
・水道問題

質問　住民投票を含む自治基本条例策定を

30km圏内の住民の避難計画が策定されようとしているが、関係者からは非現実的との声や、危険な原発ということがわかった以上、住民の避難より原発の方こそ撤退すべきではないかとの意見がある。

住民には平和的生存権がある。住民投票を含む住民の意思を反映した行政の展開のために、自治基本条例の制定が急がれる。市長のマニフェストにもあるので、条例を任期内に策定すべきと思うが、決意はいかに。

回答　「伺います条例」の後に研究したい

マニフェストに掲げたが、職員の中に意義が浸透していない。職員の方から出かけていくために、まず、伺います条例をつくり、実施状況をみたうえで、第二段階として自治基本条例を研究していきたい。

森脇　勇人（もりわき　はやと）（松政クラブ）

・国のTPP参加方針について
・縦割り行政と行革について
・航空自衛隊美保基地のC-2輸送機の配備と地元課題について
・県境を越えた地域課題について

質問　事前協議の対象拡大、基地調整交付金の拡大措置ができないか

飛行区域の変更など事前協議の対象にするべき。また基地調整交付金、何にでも使える9条の対象の措置の申し入れができないか。

回答　事前協議の申し入れ、制度改正を強く要請する

飛行コースの変更など通告のみで決定した経緯がある。八束町の要望もこれが一番の骨子であり、飛行コースの変更等々事前協議の対象になるよう申し入れたい。特定防衛施設交付金については、基地所在地しか交付対象になっていないので、八束町など飛行区域について、国に対し基地所在市町村と同じような措置をしてもらうよう、制度改正を強く要請していきたい。

C-2 輸送機

田中　豊昭（たなか　とよあき）（松政クラブ）

・ユネスコ世界無形文化遺産登録について
・エコクリーン松江について

質問　佐陀神能記念館の増設の考えは

国の無形文化財である佐陀神能の保存を目的の一つとしている鹿島歴史民俗資料館を活用するためには、ここに佐陀神能記念館を増設すれば、国際文化観光都市にふさわしい施設になると考えるが。

回答　公共施設のあり方に関わる検討結果を踏まえ判断していく

価値の市民への周知、後継者の育成、講座の開設、調査研究について、国とも連携し、長期的な取り組みを考えたい。無形文化遺産への関心が高まるよう、学校教育の場でふるさと学習として取り入れ、公共施設のあり方に関わる検討結果を踏まえながら判断をしていくものと考えている。

佐陀神能

田中　明子（たなか　あきこ）（公明クラブ）

・男女共同参画社会
・ＮＰＯ法人
・健康問題
・国民健康保険料
・介護保険

質問　次期がん対策推進計画の取り組みは

1981年以来、がんは死因のトップを占めている。松江市の今後のがん対策について伺っておきたい。

また、今年度全額公費補助で実施してきた子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの対応についてもお尋ねする。

回答　がん検診の無料化の拡大を実施

松江市がん検診あり方検討委員会で提言をまとめていただいた。それを受け、特定年齢で、これまでの大腸がん、子宮がん、乳がん検診の無料実施に加え、胃がん、肺がん、前立腺がんについても一定の年齢において無料化する。乳がんと子宮がんの無料クーポン事業、またワクチンについても、これまでどおり公費補助により無料接種を実施する。

畑尾　幸生（はたお　こうせい）（市民クラブ）

・まちづくりの基本方針について
・次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について
・伺います係について

質問　平成の開府元年まちづくり基本方針は

このたび、ビジョン懇話会を立ちあげられたが、その意義について伺う。また、県外の有識者等の意見も参考にとの考えだが、ともすれば抽象論に留まることが多い。大事なことは地域の声をどれだけあげるかではないか

回答　委員と市民とのディスカッション等を開催するなどして構想をまとめる

平成のまちづくり構想は、松江開府400年祭も終わり、次の100年に向けてのまちづくりを考えていく転機といえる。10年計画というようなものでなく、もう少し夢のあるものをという考えである。有識者の意見には傾聴すべき点も多い。来年は市民懇話会や地域懇話会に7人の委員にも出席いただいてディスカッションしていただくなど、市民の声も取り入れ、構想のまとめをしていきたい。

宅野　賢治（たくの　けんじ）（友愛クラブ）

・平成24年度地方税制改正見直し
・公共施設の命名権の導入による自主財源確保策
・極端な低価格入札契約の対策防止
・安全安心な自転車移動のまちづくり
・松江第五大橋開通後の公共交通体系

質問　公共施設の命名権導入による自主財源確保策の検討を進めては〔提案〕

命名権（ネーミングライツ）とは、市有財産公共施設などに名前をつけることの権利を言い、その権利を売って、できるだけ市税を投入せずに施設管理経費を賄うものである。民間活力を活用することによる、継続的安定的な自主財源確保策として有効な施策である。今、新松江市総合体育館の建設基本構想策定中であるなら、導入できる仕組みづくりの検討を進めてはどうかと提案するが、市長の見解を伺う。

回答　積極的にこの命名権については検討を進めたい

新松江市総合体育館についてのお話をいただいたが、スサノオマジックの本拠地にもなるし、これにより全国に情報発信できる施設であるという考え方を持っているので、ご指摘があったように、積極的に、この命名権については検討を進めてまいりたい。

松蔭　嘉夫（まつかげ　よしお）（松政クラブ）

・沿岸漁業振興について
・選挙体制の見直しについて

質問　沿岸漁業の現況と振興対策は

沿岸漁業の現況は、資源の枯渇や魚価の低迷、従事者の高齢化等大変厳しいと聞くが、市の漁獲量等の現状はどうか。また、今後の魚価のアップ、消費拡大のためのブランド化や栽培漁業の育成が必要と思う。今回はサワラ、イワガキ、アワビ等振興策について伺う。

回答　松江市ブランドとして育成支援する

漁獲量は上向きに推移している。うち定置網が 20%を占めている。長引く不況の影響や魚離れ等、魚価の低迷で、量は増となっても漁獲金額は平年を下回る状況だ。福浦のサワラは岡山県に出荷され、倍近い高値で取引されている。今後取り組みの拡大を図りたい。また、イワガキ、アワビも市の支援により生産が増加している。松江市はホテル、旅館、飲食店等消費が多いので、市のブランドとしてPRし、販路拡大等支援育成する。

石倉　徳章（いしくら　のりふみ）（松政クラブ）

・ＴＰＰ問題に関連して
・文化施設について（公共施設見直し検討委員会案から）
・次期介護保険事業計画について

質問　TPP専門官の設置と、今後の農業は産業政策と社会政策が必要ではないか

TPP問題は、農業、食の安全、医療分野等多岐にわたり極めて解りにくい。市民に対し十分な説明、情報提供のため、専門官、担当を設置してはどうか。

また、今後の農業振興は、産業政策とともに社会政策、環境政策等の実施により地域を守ることが重要と考える。本市独自の政策とそれを国に求めることが必要と思うが。

回答　産業経済部で情報収集を行う。今後国の政策に従い地域農業振興を考えたい

TPP参加による影響は国から十分に情報提供されてない。市民生活や地域経済に与える影響は大きい。まずは産業経済部を中心に情報収集を行う。今後の農業をいかにするかは国で明確に出すべきである。それを受け、当地域の農業振興を考えたいが、基盤づくり、特産品の奨励等支援していきたい。国に対しては、関係者の意見を聞きながら対処していく。

川島　光雅（かわしま　みつまさ）　（松政クラブ）

- 人勧にもとづく職員給与条例の改正と特別職報酬等審議会にもとづく特別職の給料について
- **公共施設見直し検討委員会の休止対象になった旧町村の資料館の扱いやその他の資料館の運営について**
- 伺います条例について
- 総合体育館の建替えについて

質問　松江歴史館の運営状況は

当初、平成23年度入館者目標を25万人と見込んでいたが、11月現在で8万5,718人の入館者数である。

遺跡跡の保存問題や建設コストなどで騒がれた施設なので、しっかりと目標を達成しないといけない。現在の入館者数からすると、当初予算で入館料1億2,351万円計上されているが、5,000万円ぐらいの入館料しか見込めないが、その不足分はどうするのか。

回答　目標達成は困難、不足分は一般会計全体で補う

目標25万人の達成は非常に難しい状況である。

歳入において、予算の不足分については一般会計全体で調整を行い、補うことになる。なお、来館を促すため年間パスポート券（1,500円）を発券しているが、今後積極的に PR を行い、多くの市民に来館していただけるよう努めたい。

野々内　誠（ののうち　まこと）　（松政クラブ）

- **ものづくり産業の振興について**
- 学校教育の振興について
- 子育て支援事業について
- 第5期介護保険事業計画について
- インバウンド観光の充実について

質問　ものづくり産業の振興策は

三菱重工の完全子会社となった三菱農機が他メーカーから製品を供給すれば、協力会社には仕事がなくなると危機感を持つ。雇用や地域経済の活性化の面からも対策が必要だ。また、新規の仕事の取り込みが重要であり、そのために産業支援センターの役割は欠かせない。さらに、企業には直接的な支援策が今こそ必要ではないかと思うが考えを伺う。

回答　設置した研究会等で検討支援を行う

三菱農機には今まで以上に地域に貢献してもらいたいので、県・市・商工会・地元企業で研究会を組織しており、検討支援を行っていきたい。また、産業支援センターを核とし、他機関との連携も進める。直接的な設備更新の補助制度は限界があり、既存の制度を活用してほしい。今後皆さんからの意見を伺いながら見直し等をしていきたい。

野津　直嗣（のつ　なおつぐ）　（松政クラブ）

- **松江市の情報発信としてのツイッターやフェースブックの導入について**
- 「命の情報化」について

質問　市の情報発信としてツイッターやフェースブックの導入が必要では

豪雪でも大震災でも活躍したツイッターやフェースブックだが、今後、市行政としても積極的にこういった情報発信手段を活用することが必要。行革の面からもコストのかからないこういった方法をどんどん活用するべきだと思うがいかがか。

回答　今後そうしたものを一つの核にして広げていきたい

現在、ツイッターで企業との情報交換、フェースブックでは、台湾向け観光情報やRuby City MATSUEプロジェクトで使っている。これからもそういったものを核にして広げていきたいと思っている。

飯塚　悌子（いいつか　ていこ）　（共産党議員団）

- 介護保険、健診について
- **教職員の過重労働改善について**

質問　時間外労働の解消・縮減対策は

県教委の調査にもとづく市教委調査結果は「現場の実態を反映していない」などの声を聞いている。

市立小中学校の教職員の服務監督は市教委の仕事であり、適正な労働実態の把握に努める責任がある。異常な多忙化の被害者は子どもであり、市教委の積極的対応を求めたい。調査結果の受け止め、時間外労働の解消・縮減対策はどうか。

回答　メンタルヘルス保持に取り組む

学校現場が忙しいことが伺われ、長時間勤務の縮減に向けた取り組みの必要性を強く感じている。各学校で行われている効果的取り組みを紹介するとともに、メンタルヘルス保持に積極的に取り組むよう学校に求めていきたい。対象者が適正に面接指導が受けられるよう学校医会とも連携し、具体的取り組みを進めていきたい。

貴谷　麻以（きたに　まい）　（松政クラブ）

- 原発の再稼働、安全協定について
- 再生可能エネルギー等の利用促進について
- **食の安全確保について**
- 高齢者福祉施設サービス格差について
- 女性の人材育成について
- 東出雲の総合力向上教育を研修機関化することについて

質問　放射性物質の危険のない食の安全確保は

日本海の魚群と太平洋の魚群は交差していないと言われているが、回遊魚や農産物の安全性はどのようになっているか。

回答　出荷制限や採捕の停止が指示される

福島県及び近隣県で暫定規制値を超えたものは、出荷制限や操業、採捕の停止が指示され市場には出回らない。回遊魚も水産庁が定期的な調査で安全確認をすると発表。島根県では定期的に海水や空気、大気のちり等から放射性物質の調査を行い、現在までに暫定規制値を超える値は確認されていないため、水産物に含まれる放射性物質の測定はされていない。6月以降は検出されていないということなので、野菜等も影響はないものと思う。米は旧市町村単位で県独自調査を実施し、肉用牛は全頭検査が実施され、いずれも放射性セシウムは検出されていない。

森脇　幸好（もりわき　ゆきよし）　（松政クラブ）

- 事務事業（公共施設）の見直しについて
- **固定資産評価と線引き制度について**

質問　線引き制度についてどのような方向で検討するのか

線引き制度の有無による不均衡な課税は解消しなければならない。そのためには、松江市全体の線引き制度のあり方について検討しなければならないが、どのような方向で検討していくのか。

回答　土地利用のあり方を検討する組織を立ち上げた

合併によりいろいろな土地利用区分がでてきており、全市を対象とした土地利用のあり方を検討する組織を立ち上げた。固定資産税、都市計画税など総合的に検討する必要がある。

平成24年2月定例会日程

月	日	曜日	会　議　名
2	24	金	本会議（会期の決定・委員長報告・討論・採決・提案説明） 予算特別委員会（正副委員長互選）
	29	水	本会議（一般質問）
3	1	木	本会議（一般質問）
	2	金	本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）
	5	月	予算特別委員会（質疑・分科会委託）
	6	火	総務委員会
	7	水	総務委員会
	8	木	教育民生委員会
	9	金	教育民生委員会
	12	月	経済委員会
	13	火	経済委員会・建設環境委員会現地視察
	14	水	建設環境委員会
	15	木	建設環境委員会
	21	水	予算特別委員会(分科会長報告・採決)
	26	月	本会議(委員長報告・討論・採決)

第3回松江市議会 議会報告会開催

平成24年1月16日(月)～2月19日(日)

市内29ヵ所の公民館等で開催いたしました議会報告会にたくさんの市民の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

いただきましたご意見、ご提案などは、これからの議会活動、松江市の発展のために生かしていきたいと思います。

ご参加いただいた方、お世話をいただきました方々に感謝申し上げます。

（1月16日　大庭公民館）

（1月18日　朝酌公民館）

委員会行政視察報告

市民活動応援制度、防災計画の見直しなどを視察

平成23年10月11日～13日
総務委員会　松 蔭 嘉 夫 委員長

【佐賀県佐賀市】市民活動応援制度「1% 支援事業」
【鹿児島県鹿児島市】地域防災計画の見直し及び津波災害対策編
【熊本県八代市】民営化等推進事業（八代版市場化テスト）及び指定管理者制度

佐賀市では、市民活動団体が行う公益的事業について市民が投票を行い、投票数に応じて支援金を交付する「市民活動応援制度」を行っており、市民ニーズの把握や団体の活動の活性化などに取り組まれていました。鹿児島市では、東日本大震災を受け、最大クラスの津波を想定し、住民避難を軸に、避難施設、防災施設などを組み合わせ、津波対策を含めた総合的な防災計画の見直しが行われており、参考となりました。八代市では「指定管理者制度」について研修しました。

橋梁長寿命化修繕計画、市営住宅長寿命化計画などを視察

平成23年10月19日～21日
建設環境委員会　森 脇 幸 好 委員長

【福岡県北九州市】橋梁長寿命化修繕計画
【宮崎県宮崎市】景観計画の概要、景観まちづくり協定制度
【福岡県春日市】市営住宅長寿命化計画

北九州市では、橋梁の長寿命化に向けた取り組みについて研修しました。市内にある約2,000橋について、老朽化が進んでいない橋梁は予防的な補修をし、老朽化が進んだ橋梁を抜本的に補修し、今後100年間の長期計画の中で予算の平準化を図ることで、約6割の経費削減をしようと考えていることは大変参考になりました。

宮崎市では、景観形成のためのまちづくりに関する協定制度について研修しました。

春日市では、市営住宅長寿命化計画について研修しました。市内にある中層耐火構造の住宅396戸全てについて、建設して35年から43年を経過しており、耐用年限までの期間が35年未満であり、投入した資金に対する投資効果が発揮されないため、全ての住宅において建替えと判定されたことは参考になりました。

自然と調和したまち歩き、ライトレールなどを視察

平成23年10月18日～20日
経済委員会　吉 金　　隆 委員長

【富山県黒部市】観光局設立と生地地区の名水街道まち歩き・自然と調和した観光
【富山県富山市】ライトレールと岩瀬浜回船問屋まち歩き
【岐阜県高山市】まち歩き・インバウンド・バリアフリー観光と広域的な観光資源の活用

黒部市の宇奈月では低炭素型観光を目標に、小水力発電や電気自動車の開発で全国展開も目指していました。高山市では26年開業の新幹線や富山空港の高機能交通網を活用し、周辺の観光地の中心に位置しているので広域観光の拠点化を期しているが、全国の小京都と同じで今後の観光の課題であるリピーターを期待できるのか改善が求められると思いました。どこでもボランティアガイドが活躍していますが、高齢化後継者問題を抱えており、松江市の観光のために継続して情報を得るべきだと感じました。

高山市

このほかの委員会では以下のとおり行政視察を行いました

平成23年10月24日～26日
●まちづくり対策特別委員会
【石川県金沢市】歴史的風致維持向上計画
【岐阜県高山市】歴史的風致維持向上計画

平成23年10月31日～11月2日
●議会運営委員会
【大分県大分市】議会運営、議会改革の取り組み、政策研究会
【熊本県熊本市】議会運営、議会改革の取り組み
【福岡県久留米市】議会運営、議会改革の取り組み、行政改革特別委員会

平成23年11月7日～9日
●島根原子力発電対策特別委員会
【北海道古宇郡泊村】泊発電所3号機の営業運転再開
泊発電所現地視察

平成23年11月8日～10日
●宍道湖・中海問題等対策特別委員会
【新潟県新潟市】新潟市かわまちづくり事業
【富山県砺波市】雄神地区かわまちづくり事業
【石川県金沢市】浅野川周辺のまちづくり

砺波市を流れる庄川を視察
（宍道湖・中海問題等対策特別委員会）

皆さんのご意見をお寄せください

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電　　話（0852)55-5433
ファックス（0852)55-5533
議会事務局メールアドレス　giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html

編集後記

市議会だよりで、市民の関心が高いのが一般質問記事である。だから、それぞれの議員の個性的な表現や質問の真意を確かめながら、統一的な記載に仕上げる作業が一番醍醐味がある。

また、議員の人間性を解析できるのも興味深い。文章では簡潔に表現できるのに言葉で表現すると三十分は優に要る。簡潔でわかりやすい質問方法が必要と感じる。

議会広報等特別委員会　川 島 光 雅